

2023年3月期 第1四半期 決算説明会

東海旅客鉄道株式会社

2022年7月27日

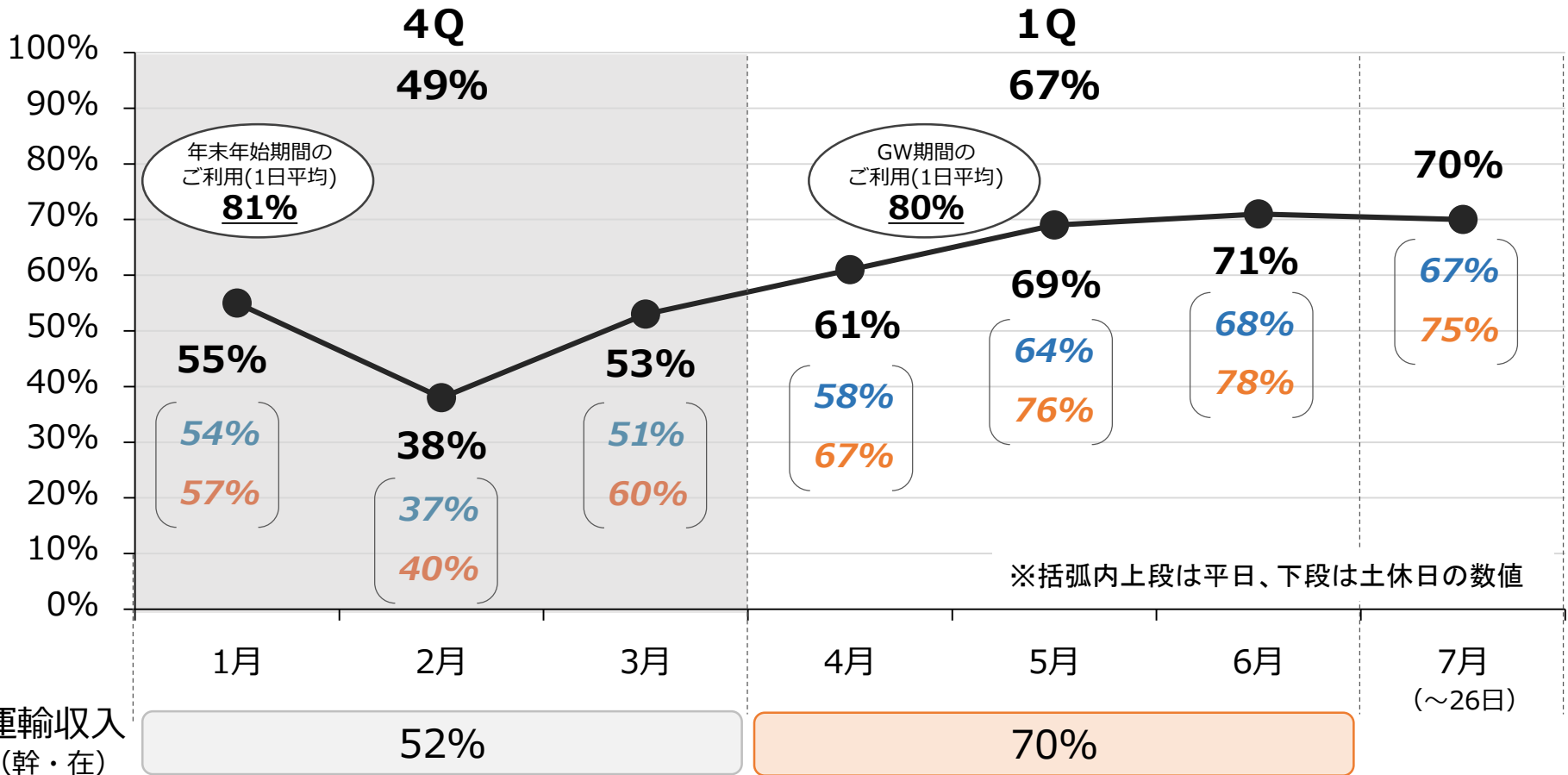
目次

- I 2023年3月期第1四半期 決算実績等 … 3
- II 気候変動対策の取組み … 9
- III 中央新幹線計画の状況 … 11

I 2023年3月期第1四半期 決算実績等

東海道新幹線のご利用状況と運輸収入

■ 東海道新幹線のご利用状況（東京口、2018年度比）



運輸収入
(幹・在)
※2018年度比

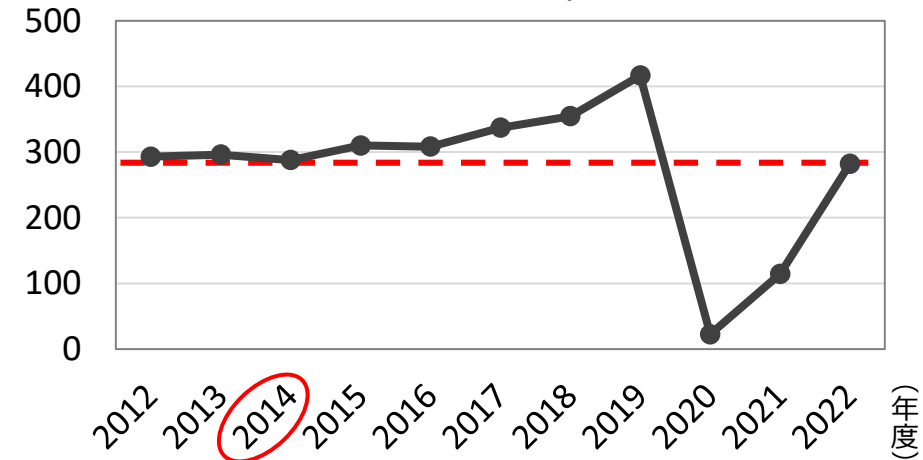
- 第1四半期は、ご利用が緩やかに回復 特に土休日のご利用が回復を牽引
- 中でも、ゴールデンウィーク期間の1日平均のご利用は2018年度比で80%に
- この結果、第1四半期の運輸収入は、想定（2018年度比60%）を327億円上回った

- ゴールデンウィーク期間（4/28～5/8）のご利用は、前年を大きく上回る水準（2014年度の水準付近まで回復）
- 東海道新幹線においては、十分な輸送力を確保するため、「のぞみ12本ダイヤ」を7日間・42時間帯で実施

GW期間における1日平均の輸送量比較

	2020年度比	2018年度比
新幹線	274%	80%
在来線 特急列車	220%	68%

GW期間における東海道新幹線のご利用状況の推移
(1日平均)



損益計算書（単体）

（億円）

	2021年度 1Q累計 A	2022年度 1Q累計 B	増減 (B-A)	主な増減要因
営業収益 (運輸収入)	1,379 (1,225)	2,534 (2,358)	1,155 (1,132)	新幹線+1,089、在来線+43
営業費	1,597	1,738	141	
人件費	437	440	3	
物件費	623	720	96	
動力費	87	126	38	単価の増等
修繕費	187	180	△6	新幹線車両修繕の減等
業務費	348	412	64	発売手数料の増等
租税公課	91	97	6	
減価償却費	445	481	35	新型車両の投入等
営業損益	△218	795	1,014	
経常損益	△382	622	1,004	
四半期純損益	△263	435	698	

損益計算書（連結）

(億円)

	2021年度 1Q累計 A	2022年度 1Q累計 B	増減 (B-A)	主な増減要因 (B-A)
営業収益	1,806	3,093	1,287	
運輸業	1,357	2,510	1,153	(+) JR東海(運輸業)
流通業	220	314	94	(+) 東海キヨスク、JR東海高島屋
不動産業	167	183	15	(+) ジェイアールセントラルビル、 東京ステーション開発、JR東海関西開発
その他	436	503	67	(+) 日本車両、JR東海ツアーズ、 JR東海ホテルズ
営業費	2,059	2,258	198	
営業損益	△253	835	1,088	
運輸業	△238	773	1,012	(+) JR東海(運輸業)
流通業	△23	13	37	(+) 東海キヨスク、JR東海高島屋
不動産業	41	50	8	(+) ジェイアールセントラルビル、 東京ステーション開発、JR東海関西開発
その他	△28	△0	28	(+) 日本車両、JR東海ツアーズ、 JR東海ホテルズ
経常損益	△401	668	1,070	
親会社株主に帰属 する四半期純損益	△284	470	754	

※セグメント別の内訳はセグメント間取引の相殺消去を行う前の数値です。内訳の合計値は営業収益・営業損益と一致しません。

- ご利用の回復を力強く進めるため、営業施策を積極的に展開
- 引き続き、これまでにない切り口や新しい発想による取組みを通じて、新たな移動需要を生み出していく

取組み例

読売巨人軍 臨場感溢れる特別観戦プラン (5/24~26)



東京ドーム（パーティールーム）イメージ

「EX 旅のコンテンツポータル」にて 「読売ジャイアンツ戦・特別観戦プラン」を販売

- ・ 外野レフトスタンド真下に位置する「シークレットパーティールーム」を、EXサービス会員限定で特別貸切
- ・ 巨人軍OBレジェンズがパーティールームに入室して試合の生解説
- ・ 「オプションプラン」として現地までの交通手段や宿泊施設、その他サービスをお客様のご要望に応じてコーディネート

映画『五等分の花嫁』とのタイアップ企画 (5月~7月)



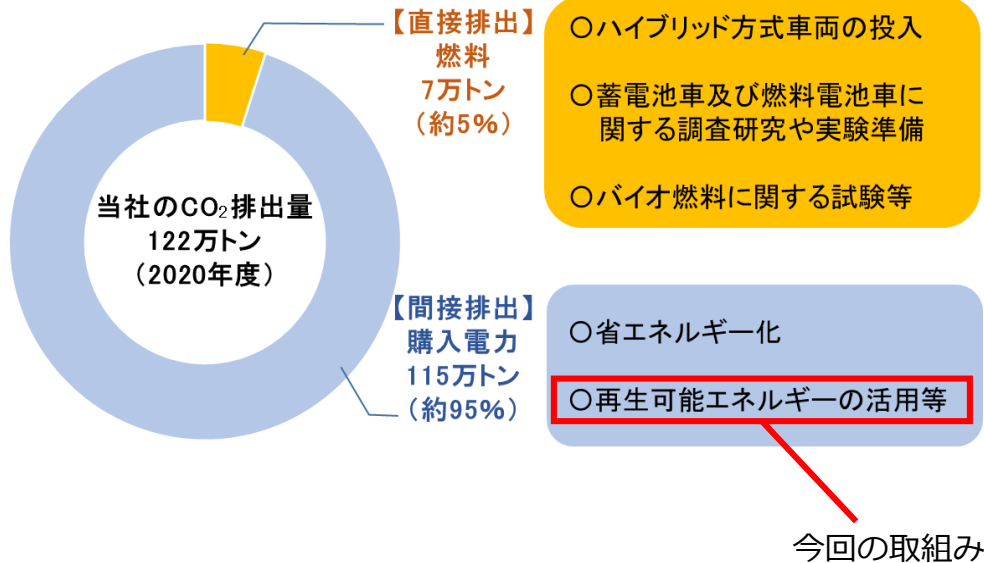
「押し旅アップデート」で映画 『五等分の花嫁』とのタイアップ企画を実施

- ・ 開館30周年を迎える名古屋港水族館での「五つ子等身大パネル」等の展示や、東海道新幹線のぞみ停車駅でのモバイルスタンプラリー等、様々な企画を用意
- ・ 「EXサービス」会員限定で、オリジナル水族館チケット（ノベルティ付）を販売
- ・ 首都圏から名古屋圏までの往復新幹線パッケージ商品を販売

Ⅱ 気候変動対策の取組み

- 電源開発株式会社（「Jパワー」）と連携し、武豊線電車運行の二酸化炭素排出量実質ゼロ化を行う ※本年7月1日より開始
- 今後も、当社とJパワーは、地球環境保全を通じた持続可能な社会の実現に向け、連携して検討を深めていく

当社の二酸化炭素排出削減の取組み



本取組みの対象路線



(路線距離：大府駅～武豊駅間19.3km)

<具体的なスキーム>

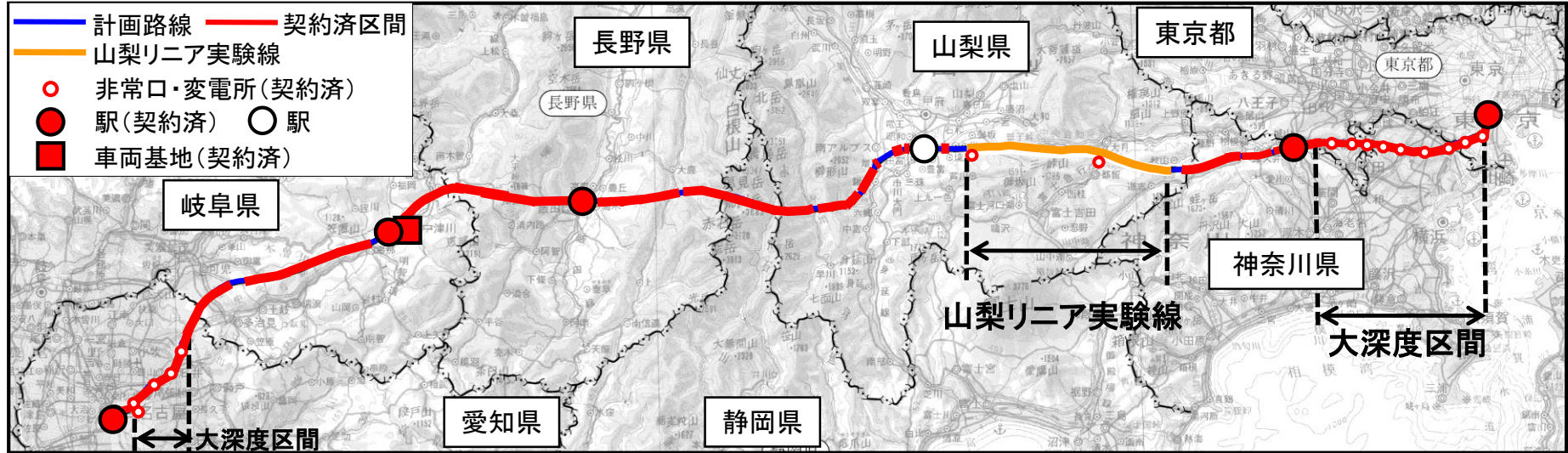
- 武豊線の電車運行に使用する電力量相当分の「FIT非化石証書」をJパワーから購入して使用
- 同線の電車を実質的に再エネ由来電力100%で運行することとなり、年間約760tのCO₂排出量が実質ゼロに

Ⅲ 中央新幹線計画の状況

【本体工事契約箇所 (2022.6.30現在)】

※本体工事契約区間等は概ねの位置を示したものです。

※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の100万分の1日本を複製したものです。(承認番号 平25情複、第310号)



名古屋駅 中央東工区
軌道下掘削工



岐阜県駅 (仮称)
ヤード全景



南アルプストンネル長野工区
本坑掘削工



山梨県内高架橋
上部工

【南アルプストーンネル静岡工区】

《大井川の水資源に関する取組み》

- 昨年12月、国土交通省主催の「リニア中央新幹線静岡工区 有識者会議」が取りまとめた「大井川水資源問題に関する中間報告」を踏まえ、当社は地域の方々へのわかりやすい説明、リスク対応とモニタリングの具体化、県外流出量を大井川へ戻す方策の検討などに取り組んでいます。
- 工事の一定期間、例外的に県外へ流出するトンネル湧水量と同量が大井川に戻す方策については、検討を進め、4月26日と7月20日に静岡県に説明しました。
- また、大井川の水資源に関する今後の取組みや地域の方々へのご説明に活かすため、リーフレット、パンフレットを作成し、ご意見やご質問をお寄せいただく取組みを、7月13日から開始しました。



リーフレット、パンフレット
(当社HPに掲出・静岡県内の11駅に設置)

《南アルプスの生態系等の環境保全》

- 6月8日に国土交通省主催の有識者会議が開催され、議論が開始されました。

引き続き、地域の理解と協力を得られるよう、真摯に対応していきます。

本資料に記載されている将来の計画や見込み数値等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更等が挙げられます。

(参考) 主な子会社の実績 (連結修正前)

○実績

(億円)

	営業収益			営業損益			経常損益		
	2021年度 1Q 実績	2022年度 1Q 実績	前期比	2021年度 1Q 実績	2022年度 1Q 実績	前期比	2021年度 1Q 実績	2022年度 1Q 実績	前期比
JR東海高島屋	106	125	118.1%	△2	10	—	△1	10	—
JRセントラルビル	73	77	105.8%	10	8	84.9%	10	8	85.3%
JR東海ホテルズ	27	46	169.1%	△16	△5	31.1%	△14	△4	32.2%
日本車両	183	226	123.6%	8	12	146.4%	10	14	140.9%

日本車両 四半期純利益 10 13 129.0%

(参考) 輸送量の推移 (月次利用状況)

◆月次利用状況 Monthly passenger volume

(%)

期間 Period	新幹線 Shinkansen						在来線 Conventional Railway		
	東京口 Tokyo Gate					大阪口 Osaka Gate	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	平日 Weekdays	土休日 Weekends			合計 Total
22/04	162 (61)	169 (65)	159 (52)	140 (59)	151 (58)	186 (67)	177 (62)	157 (52)	107 (80)
22/05	258 (69)	281 (72)	261 (62)	190 (66)	239 (64)	287 (76)	299 (70)	255 (66)	131 (80)
22/06	194 (71)	202 (73)	203 (65)	162 (69)	188 (68)	212 (78)	211 (73)	220 (69)	122 (85)
22/04-06	200 (67)	211 (70)	203 (59)	162 (64)	185 (63)	231 (74)	221 (69)	207 (62)	119 (82)

◆多客期利用状況 (東京口) Passenger volume during the peak holiday seasons (Tokyo Gate)

・ゴールデンウィーク "Golden Week" Holidays

期間 Period	新幹線 Shinkansen				在来線 Conventional Railway	
	合計 Total	のぞみ Nozomi	ひかり Hikari	こだま Kodama	特急等 Express	名古屋近郊 Nagoya Area
4/28~5/8	274 (80)	296 (84)	261 (69)	205 (70)	220 (68)	157 (80)

(参考) 月次営業概況 (商業施設・ホテル)

◆商業施設

Commercial Facilities

ジェイアール名古屋タカシマヤ、及び タカシマヤ ゲートタワーモール JR Nagoya Takashimaya and Takashimaya Gate Tower Mall		
期間 Period	売上高合計 2023年2月期 (百万円) Total Sales FY2022: 2022.3~2023.2 (Millions of Yen)	前年同月比 (%) YoY Comparison
22/03	15,006	107.3
22/04	12,998	122.7
22/05	13,149	155.0
22/06	13,413	136.0

◆ホテル

Hotels

名古屋マリオットアソシアホテル Nagoya Marriott Associa Hotel		名古屋JRゲートタワーホテル Nagoya JR Gate Tower Hotel (※1)		
期間 Period	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.	稼働率 (%) Occupancy Rate	前年同月比 増減 YoY Inc./Dec.
(Data for 22/03 is not provided)				
22/04	52.0	10.1	71.6	18.6
22/05	62.5	30.7	78.1	37.5
22/06	68.1	32.3	85.0	33.6